



個別案件(専門家)

2012年06月28日現在

本部／国内機関 : 中南米部

案件概要表

案件名	(和)地域開発計画 (英) Advisor on Regional Project Formulation
対象国名	ガイアナ
分野課題1	ガバナンス-地方行政
分野課題2	貧困削減-貧困削減
分野課題3	
分野分類	計画・行政-開発計画-総合地域開発計画
プログラム名	ガイアナ その他プログラム
プロジェクトサイト	ジョージタウン
署名日(実施合意)	2006年03月29日
協力期間	2006年03月29日 ～ 2009年09月28日
相手国機関名	(和)カリブ共同体事務局
相手国機関名	(英) The Caricom Secretariat

プロジェクト概要

背景	カリブ共同体(カリコム)は、カリブ地域にある旧英領の島嶼国等を中心とした14カ国1地域で構成されており、カリブ地域の市場・経済統合を目指して1973年に創設された地域国際機関である。このカリブ共同体の本部事務局がガイアナ国の首都ジョージタウン市に所在している。カリコム加盟諸国の多くは人口が極めて少ない島嶼国であり、その小規模経済力によって経済活性化とインフラ整備、教育・医療の整備、産業・工業技術の習得、情報技術等の先端技術の習得等の多くの開発課題に同時並行的に対処していかなければならない。このため、カリコム加盟諸国民の生活水準の向上と豊かで安全な社会を実現するためには、今しばらくはDAC加盟国を中心とした国際協力が必要である。我が国に対してもODA案件を助言・形成・推進する専門家の派遣が要請され、実施されて来ている。
上位目標	カリコム加盟諸国に対し、地域の開発の方向性と整合した国際協力活動が行なわれる。
プロジェクト目標	カリコム加盟諸国に対する協力事業が円滑に行われる。
成果	カリコム加盟国に対する新規案件が形成される。 カリコム加盟国に割当てられている集団研修の参加率が向上する。 カリコム加盟国と我が方の協力事業に対する連絡・調整の機能が確立される。
活動	・カリコム事務局及びガイアナ対外貿易国際協力省を通じて、カリコム地域全体に裨益するための我が国ODA案件の形成・推進に関して、次の重点分野について事務局駐在の専門家の立場から支援活動を実施する。 ①カリコム単一市場経済、②HIV/AIDS、③情報通信技術、④グッド・ガバナンス、⑤災害管理と環境、⑥教育訓練を含む人材開発と社会開発、⑦農業水産開発、⑦貿易・投資、⑧総合的な技術協力(日・ガイアナ技術協力) ・カリコム諸国のニーズと本邦集団研修のマッチングが行われる。 ・我が方協力事業の受け入れ態勢(要請)を強化するための仕組みが確立される。
投入	
日本側投入	専門家 地域開発計画 長期専門家 30ヶ月 (170万円/月×30月=5,100万円) カウンターパートはカリコム事務局 資源流動化・技術援助マネージャー及び同補佐並びに、ガ

相手国側投入	イアナ対外協力国際協力省次官執務室等の提供
外部条件	ガイアナ政府およびカリコム事務局に大きな政策変動が無い

実施体制

(1)現地実施体制	専門家はカリコム事務局内で個人で活動し、メキシコ事務所を通じて定期的に業務報告をする。
-----------	---

関連する援助活動

(1)我が国の 援助活動	カウンターパートはカリコム事務局 資源流動化・技術援助ネージャー及び同補佐並びに、ガイアナ対外協力国際協力省次官執務室等の提供
-----------------	---

(2)他ドナー等の 援助活動	USAID、EU、DFID、UNDP等が活動している。DFIDは水道関係の援助実績有。
-------------------	---